

# 応援2度 復旧後押し

「被災地の役に立ちたい」との思いは変わらなかった。そして、かなった再度の派遣。災害復旧の水道管工事では現場監督、県との協議調整など1年間を懸命に駆け抜けた。

担当する事業が目標の震災10年以内に終わらず21年度に繰り越したり、新型コロナウイルス感染症の影響で住民との交流が満足にできないなど悔きもあつた。

一度目の派遣で知り合った被災者には年貢状のやりとりが続く。岩手を訪れたという生まれた縁が復興の力になると信じている。「震災は10年たつて終わりはなく。『頑張ったから』と言ひのは嫌だから、これを機に油断と交流が生まれてほしい」。1900名離れた南の島から、北国へ思いを寄せ続ける。

# 味な「恩返し」に奮起

再び両者が結ばれたのはコロナ下の20年5月、会食自粛の影響で、ダンジャーさんが経営するキョーザ専門店の来客が前年の約2割まで落ち込んだことがきっかけだった。

報道で窮状を知った尾半ホールディングスの間瀬慶蔵専務(むね)は「あの時の縁で助けた」と決意。程なく東京に届いた同社製の「山田の醤油」のボトル200本にダンジャーさんは「涙が出た」と当時を振り返る。

山田の醤油は復興支援の思いも込めて経営店で仕入れ、料理に活用してきた。ダンジャーさんは「被災地で生活を失った方々の思いを風化させたくないが、自分たちもコロナで当たり前だった生活の尊さを痛感している。また会食の日までお互いに頑張りたい」と誓いを強める。



ふるまう吟味した言は別に全国の全中学校約1万100校に郵送。新型コロナウイルス感染症の影響で街頭配布活動は限定的となり、各地の地方新聞社、官公庁、岩手県にゆかりがある機関・団体などにも送った。

離れていても 紡ぐ 想い  
これからも 岩手ととこに

### 東海岩手県人会 会員264名

私たちは岩手と東海の架け橋です。岩手県が真の復興を遂げるまで、愛知・岐阜・三重の県民と協力して活動を続けます。

会長 石井 弘子

### 関西久慈ふるさと会 会員20名

繋げましょう。すばらしきふるさとを岩手。まだまだこれから応援続けます。

会長 奥村 昭吾

### 鹿児島岩手県人会 会員30名

かけがえない命、ふるさとの風景。消えることのないふるさとの悲しみ。心安らかな日々が早く訪れますよう祈っています。

会長 大和田 明江

### 京都清水寺で南部風鈴を愛でる会 会員35名

人的支援、ボランティア活動の大切さなど震災から得た教訓を胸に、生きる道筋でもある心の絆、心のつながりを大切にしていきたいです。

会長 及川 静衛

### 京都岩手県人会 会員89名

「息の長い支援を京都から」故郷への思いを胸に笑顔満開まで京都から応援し続けます。

会長 佐藤 耕吉

### 在京二戸人会 会員609名

今も遠くから心からあの日への鎮魂を捧げます。故郷の絆はこれからも共に。

会長 昆 洋隆

### 関西岩手県人会 会員151名

本会は常に被災地を想っています。10年間の義援金は一千百万円を超えました。秋に郷土訪問を計画しています。

会長 金野 衛

### 岩手川崎ふるさと会 会員115名

一関市川崎町のふるさとと常に交流を深めています。新型コロナウイルスの少ない岩手に注目、早い復興を願っています。

会長 及川 忠雄

### 岩手県人会茨城支部 会員35名

日本を震撼させた、東日本大震災、あの日から10年を迎えました。困難に直面しながら復興に取り組んできた被災者の方々に敬意を表し、故郷の皆さんと、未来に向かって共に歩んでいきたいです。

会長 根子 清

### 関西アテルイ・モレの会 会員110名

古代エミシを祀る1千2百年の「不撓不屈」「一心合力」の心で、被災地の皆様への思いを新たにしています。

会長 和賀 亮太郎

### 鎌倉岩手県人会 会員40名

郷土復興の願いを込めて、鎌倉鶴岡八幡宮に、北上市の勇壮な「鬼剣舞」を奉納するなど発信を続けます。

会長 早川 正行

### 岩手町ふるさと会 会員502名

あの日より10年。コロナ禍にあって遠く離れていても、会員のふるさとへの思いは常に皆さまとともに。

会長 松本 保

### 久慈ふるさと会 会員350名

早や10年。失われた命。失われた街並み。鎮魂と復興。忘れ難きふるさとへの思い、これからも続き、届けます。

会長 佐々木 務

### 在京一戸人会 会員120名

ふるさとそれは私たちの誇りです。あの日から10年常に思いはつながっています。会員一同応援しています。

会長 坂本 俊雄

この広告料の一部は、ふるさと岩手のこれからの役立ててほしいという24団体の意思により寄付されます。(順不同)